

2008年1月24日

塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」の製造設備増強を決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、高耐候性塗料用フッ素樹脂「ルミフロン®」の生産能力を増強することを決定しました。千葉工場内において、2008年夏に増産工事を行い、生産能力を現在に比較して50%増強する予定です。

フッ素塗料はその高い耐候性から塗替え回数を大幅に減らすことができ、ライフサイクルでのコスト削減が可能です。その点が評価され2005年末に改訂・発刊された公共の橋梁の塗装スペックである「鋼道路橋塗装・防食便覧」の中で、標準塗装仕様として指定されました。また工業用のタンクやマンション、戸建住宅など様々な分野で採用が広がっています。

「ルミフロン®」は、当社のフッ素化学技術により、1982年に世界で初めて商品化された溶剤可溶型塗料用フッ素樹脂です。屋外でも長期間劣化しない高い耐候性を持ち、塗布後20年以上経過した施工事例も多く、橋梁や建築物、煙突などの大型建造物から航空機、車輛など幅広い分野でお客様から高い評価と信頼を頂いています。

最近では環境負荷低減のメリットからも注目が高まっており、今後ますます増加する需要に対応するため投資を実施し、生産能力を増強することとしました。

当社化学品カンパニーは、「“Chemistry for a Blue Planet” 化学の力を通じて安全・安心・快適で環境に優しい世の中を創造します。」という思いを込めて、これからも高品質で環境負荷低減に貢献する製品を安定的に供給していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

(担当：若杉 TEL：03-3218-5259、E-mail：info-pr@agc.co.jp)